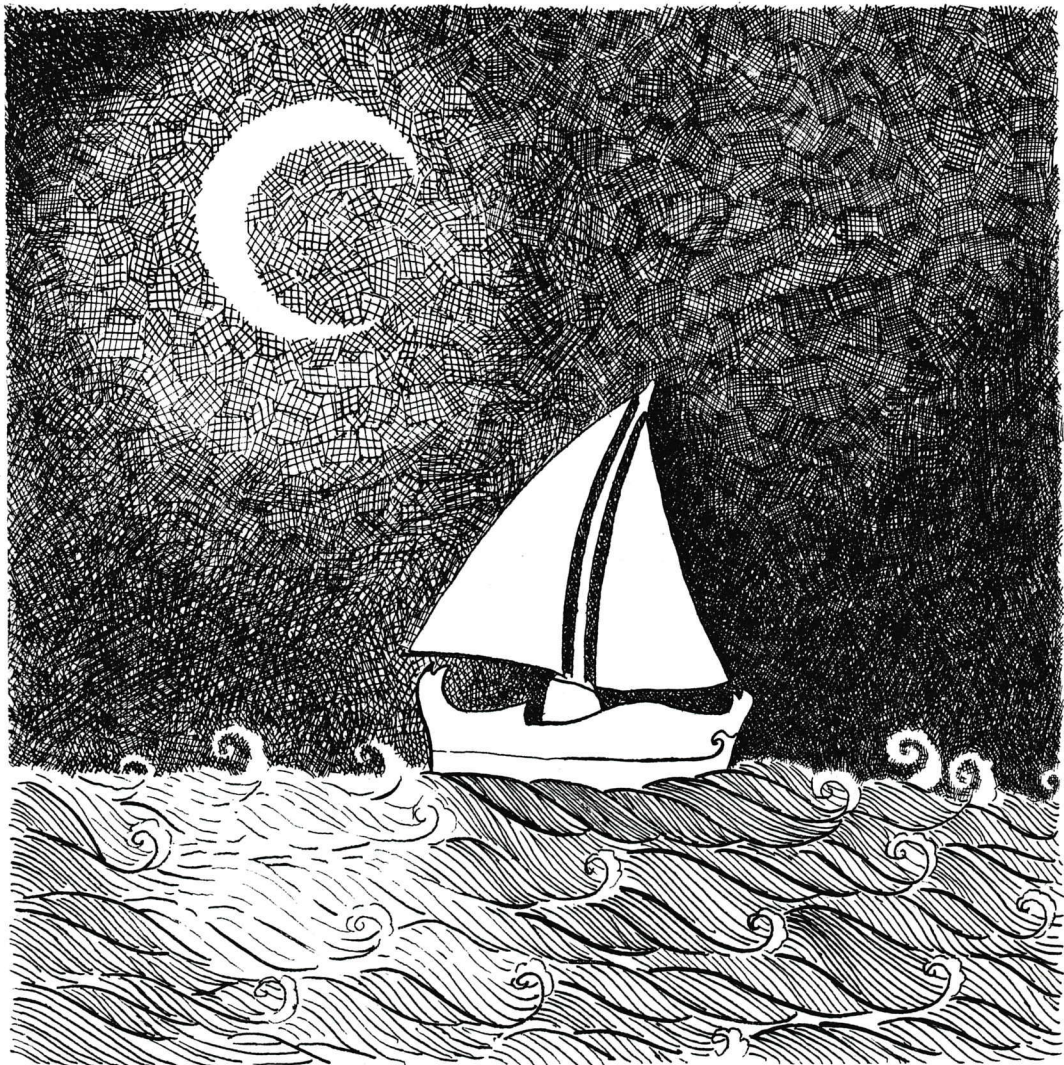


# 紫笥

第二十一号



ひとりぼっちの航海

都立文京高等学校同窓会々誌

昭和53年度 同窓会役員名簿

役職	氏名	卒業年組	電話
会長	渡辺 剛 彰	20-A	8 1 1 - 7 7 0 4
副会長	西岡 弘	20-C	8 1 1 - 6 3 1 1
"	渡部 曜	46-H	3 8 6 - 6 7 2 4
会計	太田 敏 夫	26-A	0 4 8 4 - 6 4 - 3 9 8 3
会計監査	水村 俊 雄	44-I	9 1 8 - 9 6 5 8
"	酒井 賢	49-E	9 1 5 - 7 6 4 1
総務	小野 みゆき	53-E	9 4 6 - 8 4 0 7
名簿	小宇田 純 子	53-I	9 1 8 - 9 3 6 7
会報	佐藤 義 昭	53-F	2 6 9 - 7 4 6 6
ダ ン ス	金 在 英	51-F	0 4 7 1 - 8 4 - 8 0 5 5

目次

役員名簿	1
文京吹奏楽団	1
最近退職された先生の思い出	1
横山正明先生	2
越川義夫先生	3
井出益男先生	5
後藤神戸先生	6
ペーチェット施設の建設に御後援を	7
いちよう、昭和五十三年夏	9
読 書	10
色川武大、直木賞受賞	14
ダ ン ス 部 から	14
異 動	15
会計報告	15
卒業生進路状況	16
五十三年三月卒就職先	17
編集後記	17
同窓会協賛会員名簿	裏表紙
	表紙
	佐藤義昭・辻まゆみ

# 文京吹奏楽団

## 『第四回定期演奏会』 迫る



指揮 松下 功

期 日 昭和54年 5月5日 (土・祝)  
時 間 午後1時30分開演  
入 場 料 300Yen  
場 所 杉並公会堂

主な曲目 組曲惑星より「木星」、シンフォニア・ノビリ  
ッジス、亡き王女の為のバパーヌ、幸福の黄色  
いリボン他。

主 催 文吹会 (文京高校吹奏楽部OB会)  
後 援 東京都立文京高等学校同窓会

「文京のブラスバンドは、大した事はない。」  
と思われている方もいらっしゃるのでは、な  
いでしょうか。何の何の、文京ブラスも捨て  
た物ではありません。昨年八月三十日に行な  
われた「第十八回東京都高等学校吹奏楽コン  
クール」において、堂々と「銀賞」を獲得す  
ることができました。

ところで、この「定期演奏会」は高校生の  
みの演奏会ではありません。文京ブラスを卒  
業した仲間で結成している「文京OB吹奏楽  
団」と母校「ブラスバンド部」とのジョイン  
トコンサートなのです。

特に、今回の演奏会は、指揮者の松下功氏  
が、ドイツへ留学される為、団員一同、盛大  
な演奏会にするよう、張り切って練習に励ん  
でいます。

この若さに満ちあふれたファイト、そして  
団員全員で一つの音楽を作りあげる、よいチ  
ームワーク……。とにかく、OB、現役が一  
つになった私達の演奏会を是非、ご覧下さい。

# 最近退職された先生の思い出・近況

## 心の指針

横山 正明

文京高校の生活三十年の月日は風の如く去

って行きましたが、思えば夢のように感じられます。私の教員生活の全部と申しても過言ではなく慈愛深き上司信頼できる同僚を得て有意義であったと云えます。一口に三十年と申しても長いようで短く、短いようで長いものでした。三代目の校長奥田先生が私と何

にげなく語らった時「教育はしっかり腰を据えてするもので教育の場をしばしば変えるべきではない」との意味のお言葉を耳に致しました。このお言葉が深く私の脳裡に今でも刻み込まれていて転任等のことなど考えもせず一と筋に三十年の月日を文京高校の庭で過してしまい苦しかったことも、楽しかった思いも私の生涯の小史に残って居ります。

一 応第一線を退いて第二の人生を楽しく健康に保ちたく、それには馴れた教鞭をとることはなくなり今は杉並区にある菊華高校で頑張つて居ります。附近にお立寄の折は是非お訪ね下さい。昔の懐しい文京のはなしに花を咲かせたく思います。

私の人生の指針と申しては恐縮ですが校訓「至誠一貫」を常に心掛けて行動をして居る心算ですが、凡人の常として時にはしまったと思うことが多々あります。生活の態度の中にしみじみと浸込んで行くよう今なお努力致して居り場所も変り時はたつても常に一貫した心持ちで居ります。私は時間厳守は生活の基本であると思ひ学校では特に遅刻を厳しくいまして参りましたが、ある卒業生と久し

振りに会った折「私は先生に遅刻のことてたび／＼厳しく注意を受けましたが、直らずもつと厳しくしてもらったならばよかった。社

会に出て時間を守ることの如何に大切であるかを思い知りました」とつく／＼話してくれました。私は我が意を得た感じを嬉しく受けました。

今後は「他人には寛容に自分には厳しく」これからの人生を送りたく思つて居ります。くだらぬことを述べましたが大きな声でどなつて居た数学の横山を想い出して下されば幸甚です。

最後に同窓の諸兄弟姉のご健康とご活躍を心からお祈りして寄稿の責めをはたします。

# 文京高校と私

越川義夫

同窓会々報の前号に退職教員の名前がのつていゝのを見ましたが、どうしたことか私だけが洩れているのに気付きました。実は私も昨年、正確には昭和五十二年三月三十一日付で都の勸奨を受け、永年厄介になつたなつかしい都立文京高校を、心ならずも退職いたしました。

縁あつて私が文京高校（当時の都立豊島中学校）に職を奉ずるようになったのは、終戦直後の昭和二十二年四月のことでした。この頃の学校は、国電水道橋駅近くの区立元町小学校内に間借りする狭つくるしく、古く汚い校舎の一部でした。そしてこれも狭くて汚い職員室、その片隅を小さく仕切つた校長室、廊下の一角の図書室、四方校舎に囲まれたコンクリートの小さな運動場、といった有様の、それは本当に「これが学校か」と目を見はるばりのものでした。冬に、職員室で石炭ストーブを焚くと、煙突がすぐにつまり、室内

は黒いす煙りがもうもうと立ちこめ、眼も開けられず、息もつまるようなひどいものでした。それでも、いやそれだからこそ、当時の生徒諸君は、不自由に堪え、勉学の意欲に燃え、教師もみな張切つて共に生き生きとした学校生活を送っていました。忘まわしい長期にわたる戦争から開放され、敗戦ながらも、国民はみんなで新生日本の再建に力強い第一歩を踏み出していたのです。私自身も前後二度の応召で六年ほど外地で従軍したあとなので、生れ変わったようにやる気充分でした。そんなある日の授業中に、P・M（米軍憲兵）がジーブで学校にやつて来て、有無を言わせず私をG・H・Q検事局に引き立て、ゆく、といったハブニングもありました。あとで聞いたことには、その時から私のあだ名が「戦犯」ということになつたそうです。

当時、独身だつた私は、住むに部屋なく、親類に当たたる神保町のある洋服商の家に寄寓

して、そこから徒歩で通勤していました。その家も戦後の急造のバラックで、家族六人と夜はごろ寝で、食事も全て配給のもの、米飯はほんのたまさか、といった状態の食糧事情も止むを得なかつた当時の生活でした。しかしそれだからこそ一層に学校の授業は楽しく、校長の勧めで私は夜学の授業も受け持ち、張り切つて一日一日が本当に充実した日々でした。生徒諸君と戸田橋農園での麦刈り、脱穀、芋掘りなども楽しい思出です。大雨の日に膝までつかつて収獲した芋を背負つて歩いていくとき、志村の交番前で警官にとがめられた事などもほ、えましく思い出されます。

新校舎に移れた時の全校の喜びは大変なものでした。真新しい校舎内での授業、広々とした校庭での存分な運動、競技、あの元町小学校での生活は昨日の悪夢に過ぎなかつたのです。私も、旧制中学は夜学でしたので、思存分、教師としてよりも生徒の気持で生徒と

共に勉強し遊んだものです。しかし、この楽園に、やがて学校紛争の嵐が吹き荒れようとは。昭和四十四年の秋の反帝学評による学校封鎖は瞬間にして学園を一大混乱に巻き込んだのです。長期に及ぶ騒動に、教師も生徒も身も心も疲れ果てたものでした。しかしやがて全校挙げての努力の結果、貴い教訓を得て事態收拾が出来たことは喜ぶべき次第です。記憶の糸をたぐると止めどなく嬉しいこと、楽しいこと、辛いこと、悲しいことが思い出されます。現職の校長、同僚教員の死は、痛恨限りない思い出です。私自身も急病で、死寸前に保健室から病院に運ばれ、急きよ手術を受けるという経験を持ちました。

それにしても、三十年間もの永い年月勤めた職場をやめる時は本当に感無量でした。

退職のあと五月に、赴任最初の担任の卒業生が箱根の一泊旅行に招待してくれ、一夜の歓談に夜のふけるのも忘れるという教師冥利につきる機会に恵まれました。この時ほど教師という職業の有難さを痛感した時はありません。実はその同じクラス会の幹事から、今又、忘年会への招待状が届きました。一別以来未だ半年余ながら、再び元氣な二十八年前の生徒諸氏と一堂に会して、楽しいくれの一

夜を過せる、という思いに、今から胸のときめきを覚える今日此頃です。

終りに、都立文京高校の同窓会々員諸氏の

御健康と今後の一層の御活躍を祈りながら筆を擱く次第です。

### (5) 各種学校

学 校 名	現	浪	計	学 校 名	現	浪	計
東京YMCA	1		1	東京電子専門学校	1		1
山野美容学校	1		1	浅野工学専門学校	1		1
服部栄養専門学校	1		1	聖徳学園附属保母養成所	1		1
東京ビジネス専門学校	2		2	食肉技術学校	1		1
一橋スクールオブビジネス	4		4	トラベルジャーナル学院	1		1
田中千代服飾専門学校	1		1	竹早教員養成所	2		2
東京スクールオブビジネス	3		3	慶応附属厚生女子学院	1		1
千代田電算機学院	1		1	日本音楽学校	1		1
メーキャップアーチスト学院	1		1	お茶の水タイピスト専門学校	1		1
村田簿記学校	2		2	日活テレビ映画専門学校	1		1
侯成高等看護学院	1		1	河合中央音楽学院	1		1
東京総合写真専門学校	1		1	都立看護学校	2		2
神田外語	1		1	東京YWCA専門学院	1		1
東京デザイナ学院	1		1	文京女子保育専門学校	1		1
津田スクールオブビジネス	3		3				
日本工学院専門学校	1		1	計	41		41

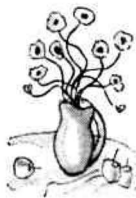
# 無題

昭和二十年一月、当時の豊島中学に赴任、一か月もたない同年二月に召集され、翌二十一年二月帰還、校舎焼失、元町小学校に間借りと聞かされ、妙な気持ちで尋ねてから、通うこと六年ほどして、ようやく焼跡に都のモデルスクールと称するモダンな校舎が建ち、そして増築され改築され、今日のように緑豊かな学園になるまでと申しますと、まことに長い年月ではありますが、時に、若い先生方で、来られてからまだ五・六年、せいぜい六・七年かと思われる方が、もう十何年などと言きますと、この若い人より十数年多いだけでは、などと思ったりもします。文京高校というところは、長さを感じさせないところが、あるのでしょうか。

それにしても、自分の今まで生きて来た歳の月の半分以上を、こんなに気持ちよく過ごさせていたゞいた幸せを感謝せずにはおられませんか。先日も、通勤途上で（小生講師という事で週五日ほど勤めております）今までどちらの学校でしたかと聞かれ、文京高校、と答えますと、私は以前赤羽の中学にりましたが、いい学校においてでしたね、と言われ、なかなか幸せを再確認させられたような気がしました。

井出益男

でもした。剩え、かねがねお世話になり、忘れられない先生方にもお目にかかせていただき、本当にありがたい会でした。こういうことも、どの学校でもあることではないでしょう。重ねてお礼申し上げます。



# 通勤電車の中で

## 後藤神戸

朝の通勤電車、乗客が高崎線上尾駅でどつと乗り込んだ。わたしは読んでいた新聞を畳んでこ脇に挟んだ。一瞬にして電車の中は立錐の余地もなくなつた。わたしは通路の真中で一方の窓の方を向いて目をつむつて立っていた。

背中合わせに立っていた乗客の一人がしきりに私の背中を肘でつつくのである。わたしはちよつと後を振り向いたが、そのまま前に向き直つて再び目をつむつた。彼は何かぶつぶつ言いながらわたしの背中を後肘でつつき続けている。どうやらわたしのこ脇に挟んだ折畳みの新聞紙の端が彼の背中にさわるらしいのである。時間が経つにつれ彼の動作は異常なものに感じられて来た。どうも一つ事が気になると居ても立っても居られないような気持になるのではないのだろうか。私も次第に意地悪くなつてこ脇に挟んだ新聞紙を引込めまいと肘を強く締めつけた。彼はなおもぶ

つぶつ言い続けていた。わたしは知らん顔をして背を向けていた。赤羽駅へ着いた。乗客がどつと降りた。わたしも降りた。わたしはなぜこんな事に意地を張つたのか分らなかつた。

午後七時赤羽駅のホームは下り列車を待つ乗客で一ぱいだった。駅の放送は「今度の電車は二つドアで大変混みますから大宮、浦和へお越しの方は国電京浜東北線を御利用下さい」と繰り返していた。電車は通勤客をつみ残したまま発車した。わたしはやつと入口のドアのところまで入ることが出来た。圧される胸の痛みをじつとこらえていた。電車が進行するにつれて、箱の中の小豆のように摩擦がうすれて落ちつくところに落ちついていった。

電車が浦和駅についた。入口の五、六人が降りた。車の中にいた中年の紳士風の男が「入口にいる奴は降りろよ」と怒鳴つて、乗客を

かけ分けて動いた。浦和で降りる奴は国電にればいいんだ、そんな奴が乗るからこむんだ。と乗客の一人がやり返した。電車が大宮駅についた時、向いのホームにガラ／＼のプルーの国電が入つて来た。

電車は大宮駅でまだわんさと乗客をつめ込んだ。駅の放送が鳴つた。「只今ドアのガラスが破れ修理中でございます。恐縮ですがもうしばらくお待ち下さい」馬鹿にいていねいな放送である。電車は二十五分遅れて発車した。楠川駅から外へ出ると、もうホームには次の三つドアの下り電車が停つていた。あの浦和で降りた男はなぜ国電に乗らなかつたのだろう、と思つたが自分もやっぱり同じ種族であつた。なぜ人間は誰でもそんなに帰りを急ぐのだろうか。

文京に三十年近く勤めていろ／＼な事があつた。一番疲労した思い出は学園紛争である。あれも若者の血の気をあげたお祭りだと思



えば何のこともない、だが当時はそんな簡単なものではなかった。修業が足りなかったかも知れぬ。幾星霜の年月を経ようとも、どんなに社会が不確実性の時代に回転しようとも長年培われた文京生の明かるとも素直さは決して失われることはないだろう。またいろ／＼な類型の生徒が生れてこようとも先生方は決して若者を殺しはしなかったと私は思う。これからも恐らくそうであろう。それを証明するものはアウトローとも思えるX君が卒業出来たことである。彼は「僕は文京にいたからこそ高校を卒業出来たのだ」とつくづく言っていた。文京には浦和駅で大声で怒鳴って降りていったような人間は生れて来ないだろう。また異常に神経を尖らず人間もけつして生れて来ないだろう。



## ベーチエツト施設の建設に 御後援を

一期B組の福山正臣医博は、全国ベーチエツト協会事務局長として、患者の更生施設の建設に全力をつくしておられます。

施設は、あんま、指圧、マツサージの訓練を二年にわたって修得できるように、十五名ずつ三十名の収容を予定しています。その他社会適応訓練コース五名宛があり、このコースは、日本では大変おこなわれていて、将来はこの方面にポイントをおき運営したいそうです。この方面の研修を終えた米人二人を含む三人の方も招いて充実をはかる予定で、目下、埼玉県大里郡江南村の小原療養所の敷地内に建設されつつあります。

総事業費、一億八八七万円で、寄付分が五二〇万円必要であり、完成後も六百万円近い年間の寄付がプラスされないと運営が苦しく、福山先生は私財をかたむける決意である、うけたまわりました。

福山兄は昭和四五年から「ベーチエツト病患者を救う医師の会」を作り、国に対して要

望されましたが、現行法制上の欠陥に起因する政府施策の遅れは正には時間のかかることが分り、民間の救済事業としての法人の設立にふみ切られました。

昭和四九年五月には、患者にとって唯一のともしびのような存在であった埼玉県毛呂病院新生寮が事情があり閉鎖されることもあり、昭和五年三月に、社会福祉法人の認可を得て秩父市郊外の民有地をかり、第一歩をふみ出しました。

しかし、原因のはっきりわからぬ難病であるからということ、一部地元民の猛反対をうけ、紆余曲折、二年の苦闘がくりひろげられました。最終的には埼玉県知事の「地元エゴもはなはだしい。人道上これ以上の延引はできぬ」との断で、反対運動も軟化し、着工へとこぎつけました。

しかし、二年の苦闘のうちに、建築資材の値上がり、人件費の上昇などが加わり、不足分の建築費の調達にまかせない状態と

なりました。  
棄民状態におかれたベーチエット失明者の更生のために、協会としては、同窓会各位、又、多くの人々からの、ご援助を切に賜りたいと願っております。

文京高校の前身である市立三中時代の人々を中心として結成されている有志「市三会」では、「ベーチエット病救済チャリティ絵画展（かしのき会第一回）」を昨年12月18日から24日の間に室町ギャラリーで行いました。鶴田、吉野、小椋、若林、各画伯の絵を中心に、恩師森田先生、チャチル会の戸田氏の出品があり、二五点にわたり買上げいただいたそうです。

なお、この催しは、毎日新聞（19日朝刊・21日夕刊）NHK（23日PM6・50TV第一）でとりあげられ、同窓会としても後援いたしました。

### 御援助を

全国ベーチエット協会事務局  
福山正臣宛  
〒101 東京都千代田区三崎町12の16の5  
電話03―二六一―七四四六



奥田三代目校長・福山氏



いちよう

## 昭和五十三年夏

今年の夏は、非常に熱かった。この熱さの中でサラリーマンの方々は、背広を着て、ネクタイを締めて通勤している。私は、学生なので夏休み、半袖にジーパンで、映画鑑賞へ行く。もちろん、暑くて背広を脱ぎ、手にもっている方も多い。しかし、なぜ、背広を着て出勤しなくてはならないのだろう。というよりも、一つの習慣になってしまっているのだろうか。それならば、習慣でなくせばいいではないか。まさか、出勤途中に、社長や部長に出あうことはあるまい。車でゆうゆうと通勤が、ほとんどだろう。

そこで、サラリーマンの方々は、自分のテ

スクのすみにでも、ネクタイと背広の上着だけは、おいていき、ワイシャツで通勤すればいいではないか。社内は冷房ですずしいから背広を着て、ネクタイをしめて、家路につくときは、また、ワイシャツで、帰ればよい。

新聞に次のような記事が出ていた。(抜粋)  
ネクタイは、男のおしゃれのポイントといわれる。しかし、ラッシュュの通勤電車で、背広にきちんとネクタイを締め、汗みどろな姿は気の毒だ。職業柄、いくら暑くてもネクタイを外せないのだろうか、冷房のきいた室内でもない限り、ネクタイは日本の夏には不向きなおしゃれだと思ふ。

皆さん、今年の夏はネクタイを外して、通勤しましょう。

さて、話わかるが、

私は、芝居を観ることが好きで、夏休みに帝劇で「ハムレット」、日生劇場で「アニー」を観た。一方は、古典劇で本で読んでから、観たが、本では味わえないすばらしさがあった。また、舞台装置は階段を使い、衣装は、非常にはなやかで楽しかった。もう一方は、アメリカでヒットしているミュージカルで、子供用に演出されていたが、大人でも十分楽しめる作品だった。

ところで日本の観客の態度は非常にいい。静かに観ていて、役者のセリフもよく聞える。しかし、役者側から見ると、とても、ものたりないのではないかと気がする。客は、感動しているのか、楽しんでいいのか、わからないからだ。

私は、たんに観るだけでなく、それから、時間の大切さ、人間愛、勇気を学び、自分の人生を演出し、一つの物語を作っている。

# 読書

わたしは文集をやろうと思いついたのは、理由がある。それは、五十二年、十一月三日高三の秋、ブラリと、散歩に出かけ、本屋に立ちよつて本屋の中を散歩していると、「生きる」「俺には俺の生き方がある」「もういちど生きなおそう」など、その他、十五冊が、目にとまつた。その中の一冊、「生きていくのは俺たちだ」を、手に取り、ページをめくると、「これは、俺たちの主張の本だ」と書いてあつた。わたしは、この本をすぐに買って、家にいそいで帰つて、読み始めた。わたしは、この本を、二時間余りで、読み終えた。読後わたしは、人生が、楽しくなつてしまつた。これほど、感激した本は、いままでに一冊もなかつた。翌日には、先ほどのべた、十

五冊の本の中から、一冊えらび、二三日のペースで、十五冊を読んできました。

この本のシリーズの著者は、加藤諦三さんだ。ご存じの方も、いらつしやるだろう。このシリーズを、読み始めて、わたしは、クラスに、文集のことを提案しようと思つたのであつた。このシリーズに、出あわなければどんな状態にあつても、文集のことは思いつかなかつただろう。これだけの話して、読む気になつた人は、少ないだろう。

一冊、本の内容を少し記しておこう。

「生きていくのは俺たちだ」この本は、加藤さんへの若者の手紙で、構成され、その手紙の話について、加藤さんが、回答したり、意見をしている。わたしたち若者の、同じ悩

## 30期F 佐藤義昭

みを持った人々の話であるから、退屈はないだろう。副題を紹介する。なんのために生きるか、今日を力いっぱい生きよう、大切なのはなにかをつかむことだ、こだわりを捨てよう、劣等感なんて蹴っ散らせなどである。受験で忙しい人は、試験が終わつてから、暇な人は、今すぐに読んでほしい。

みんな知っていると思うが、わたしは、映画が、大へん好きだ。なぜかという、みんなも、知っている映画評論家の、淀川長治さんの影響である。淀川さんの本、「私は、いまだかつて嫌いな人に会つたことがない」から引用して、話を進めていきたい。

「わたしは、ガツガツ美の探求をします。美を食べようとあせります。なぜ、わたしが

そんなことをするのでしようか。例えば、みなさんが、すごいバレエをご覧になったとします。びっくり仰天です。わたしは、ニューヨークでも、東京の厚生年金会館でもみました。すごいですね。幕が、開くと二人が、サツと出て、ポーズをとります。なんてきれいなんでしよう。お腹の中で美が、あふれます。三千円の入場料で損したところか、得をしたかと思つて帰ります。あの人たちは、三千円のために踊っているのではない。命がけて美をみがいて、踊っている。お金じゃあないんだ。月給は？ポリーナスは？どんなワイフをもらおうか？どんな家に住もうか？自分のことばかり考えている。「人」とは、こんな字をかく二本の棒が、もたれあつている。「人」という字をむかしの人は、なんてうまく書いたのだろう。もたれあつている、だれかともたれあつて「人」なのですね。人間、人の間とかいて人間です。なんてうまい字を、生んだのでしよう。人間は、一人では、生きられないの

です。」

美を食べるといふことは、何か、わかつたでしようか。すぐに、わかるものではないと思います。わたしも、まだ、わかりません。美を食べて、お腹をいっぱいにしましょう。さて引用を続けます。

「わたしは、六畳一間にいようと、山と本を読み、一流の映画・演劇に感激し、音楽会、バレエの舞踊美術、あるいは、音楽、舞伎の、その日本美の豊かさ、それらを楽しみ、身にしみこませ、それらの感激から人間そのものをみきわめた人と、豪邸に住みながら、なんら人間勉強せぬままに、金・物質こそ人生最高のものとする人間、この二つを、並べた場合、真のせいたくをわたしは、完全に、六畳一間のその人に見出すことができます。」

ここで、一つ言っておきたいのは、淀川さんは、なにも、六畳一間の人間がすばらしくその他は、そうではないとおっしゃっている

ではなく、その方が、真にせいたくだのとべられているのだと思つている。

さて、最後に淀川さんから、いただいた三つのモットーを、みなさんにも、紹介したいと思います。ご存じの方もいるかもしれませんが。

「ウエルカム・トラブル」(苦勞よ来い)  
「ウエルカム・ストレンジャー」(他人歓迎)  
「アイ・ネバア・メット・ア・マン・アイ・デイドント・ライク」(わたしは、今まで嫌いな人に会つたことがない)

なお引用した部分は、一部省略・書き換えをしました。もう高校時代も終り、みんな何かに残つたものは、ありますか。もちろんみんな、少なくとも一つは、もつています。

以上は、わたしが、高三のときに、クラスで出した文集中のわたしの文章です。一部、訂正、加筆しました。また以下は、新しく書き加えるものです。

## 一度の人生

人生というものは、たった一つであり、わたしという人間は、昭和三十四年に生まれ、もうあと何年かたつて死ぬ。そして今後は、古今東西にわたつて生まれ代わることはないでしょう。だから、わたしにとって、自分の人生というのは、ずいぶん愚劣で、酒をのんで、ウズウズするかもしれないけれど、それでも自分にとっては、たった一つの人生だということとは、何ものにもかえがたい。だれにとつても、そうでしょう。みんなの人生というものは、みんなにとつて、たった一つの人生なんです。これは、大事なことです。掛けがえのないことなんです。だけれども、同時にたった一つの人生だということは、他人の人生に対して同情を持たない人生になります。自分が、金持ちであると非常に金に恵まれたのがいても、お互いの間に何ら気持の通い合いがない。片っ方の気持に同感

しないし、立場を理解しない。それでは人生というものは、非常に、寂しいと思えます。

そういう、他人の人生を、理解するということは、自分が、たった一つしかすこすことのできない人生で、いくつもの人生を同時に経験するということになります。それが、本を読む、特に小説を読むことの最も、素朴なそして、一つの大事な意味だと思います。

人生で、経験できない多くの人生の中を、小説の中に身をおくことによつて、自分が、あたかも、経験したかのように、経験する。

これを、豊かにしておくということは、逆に言えば、沢山の書物を読んで、他人の人生を自分が、経験したように身につける。ということは、その人を、非常に豊かな、しかも、判断力に富んだものに仕立てていくだろうと思えます。そして、なおかつ、これらは試験勉強では、できません。明日試験があるから、今日のうちに詰めこみでやっちゃまえ、という

勉強ではできません。少しずつ、一つの小説を読み、一つの映画を見て、そして、それらについて友達と語りあい、また、その友達にすすめられてそれを読み、そういうことをくりかえして、作つていかなければならない。非常に、骨のおれる仕事です。

それでは、どうやつて本を読んでいいたらいいのかということになりますが、これは、誰が計算したかは、知りませんが、一つの尺度は、普通一年間に、一万ページ読む人間は読書家だということだそうです。こんなに読んでいる人はいますか。しかし、一万ページという長いと感じるかもしれませんが、一日に、三十ページです。一日に、三十ページは普通に読めるでしょう。マージャンの合間に読んで読んだつて読める。週刊誌、マンガなどはいくら読んでも、ページ数に入れないのは当然です。誰れと誰れがくつついた、はなれたなんていうのは、駄目です。そうじゃなく、多少ともまともなものを、とにかく、一

日三十ページということは、十日で新書版一冊、一ヶ月で三冊読むことができます。若者が、それくらい読むのは、大したことでないでしょう。何でもないことです。そして、それだけ読めば、みんなは読書家であると誇れるわけです。

ところで、最近の読書調査をみますと、ゾツとします。実に、この頃の活字ばなれがひどいには、おどろきます。どんどんみんな、活字からはなれています。つまり本を読まなくなってきた。また同時にテレビばなれがそうです。テレビも、世界的に全体の視聴率が、下がってきているそうです。そうすると、テレビもみない、読書もしない人は、一体どこに行くのでしょうか。

さて、みなさん、特に卒業生の方は、高等学校の三年間は、どここの大学をめざし、もし入れれば、幸せだというふうに、幸せをごく手近かなところで、考えていたかもしれません。しかし、これからが、始まりです。

自分の進むべき道に志している方向に仕事がつまれば、それが、幸せだということになるかもしれない。それは、個人個人によって幸せということは、いろいろ中身は違うと思うけれど、幸せというものはあつらえたものでなくては駄目です。自分で注文をだして、

そして自分の手で、つかまえたものでなくては駄目です。自分で、つかまえた幸福が、実は幸福でなかった。青い鳥は、逃げてしまつたということになれば、それは、その時にいくら悔んでもいいんです。悔むことが、また意味のあることです。しかし、お仕着せで、与えられて、レディメードの幸福をもらつて、それで失望したときには、悔いはいのこるものです。だから、幸せとは、自分でつかまえてはいけません。一冊の書物も、そのままではなくてはいけません。一冊の書物も、そうです。みんな自身が、みつける必要がある。それは、誰に遠慮することなく、みつけた本が、つまらない本だと、ほかの人がいおうとそんなことは、かまわずに、自分にとって、

意味のあるものならば、それは、誇らかに、これこそ、「わたしの本」であるということができると思います。

そこで、最後に、その「わたしの本」とは何かということなんです。これは、わたしは一人の著者をあげて紹介しました。しかし、これは、「わたしの本」であつて、みなさんの本では、ありません。読んでもらいたいとは思いますが。念のため、ここでことわっておきますが、わたしが紹介したシリーズは小説ではありません。他のシリーズで小説をお書きになっていきます。

さて、「わたしの本」は、無用な自分にとっては、興味のわくものでない本も含めた、あらゆる種類の本を読んでいるうちに、各々が、みつけることです。自分たちで、みつけることが、大事です。



## 色川武大君直木賞授賞パーティ開催

(市三会)

五十三年八月十五日市の市三会は、直木賞を授賞された色川武大君を祝って授賞パーティを開いた。地獄の釜のフタもあこうという真夏の夜のこともあり、どの程度出席が得られるか危ぶまれたが、当日は女性の新会員三名も席につき、和やかに開催された。色川武大君も文壇の話なども披露され、戦時体制当時はお互いに玄米めしをかみしめた頃を懐しく思い出した。(市三会小椋記)

色川氏は二期C組の卒業で「阿佐田哲也」のペンネームでも活躍されてます。

## ダンス部から

同窓会活動での人間関係には、何か潤いがあるものですネ。そんな和気あいあいとした雰囲気の中で、プロの先生にダンスを習い、総練習を兼ねたパーティで、楽しい時を過ごしてみたいと思いませんか？覚えたステップは、学校のパーティはもちろん、職場でも、外国へ行っても通用します。

講習会・パーティは、四月・九月の毎日曜日、年に二回です。皆様のおいでを待ちしております。

場所 社樹ダンススクール(大塚駅前)

会費 三〇〇円位

資格 同窓会会員及び会員の知人

お問い合わせはTEL(九一六)〇六四三

豊島区上池袋三ノ三九ノ二六 鈴木武臣

TEL〇四七一一八〇五五

我孫子市並木6ノ1ノ31 金在英まで



昭和52年度  
都立文京高等学校学校同窓会会計報告

昭和52.4.27～53.4.4の間の会計は次の通り  
になります。

昭和53年4月4日 会長 渡辺 剛彰  
会計 太田 敏夫  
監査の上、正確であることを認証します。  
会計監査 佐藤 幸夫  
" 横沢 靖夫

1. 財産目録 (53.4.4)

イ 貸付信託 (基本財産)	8,210,000円
ロ 現金	614,811円
ハ 物 品	①両開き書庫2、 ②書類入れ1、③手提金庫1、④机2、 ⑤いす1、⑥ファイル1、⑦ストープ1
ニ 郵便口座	12,200
ホ 奨学基金	596,405
ヘ 会館建設基金	611,817

2. 現金

①収入	3,155,681円
繰 込 し	441,281
入金会 (5000×407)	2,035,000
利子・配当	505,202
名簿代	8,200
会報賛助金	80,000
寄 付	85,998

②支出 2,540,870円

① 経 常 費	内	各部・会計簿	1,740,870
		名	35,000
		会報印刷	747,000
		" 送料	250,000
		" 発送料	486,360
		人件費	50,000
		通信・交通費	13,000
		運営費	20,480
		渉外費	68,630
		備品費	40,400
		慶弔費	25,000
		5,000	

② 貸付信託	600,000
会館建設基金	100,000
奨学基金	100,000

③繰 越 し 614,811円

職員異動

長らく文京一筋に勤務なさいました先生方  
が退職なされました。感謝申し上げます。

退職された先生

坂本博司先生 (国語) 17年着任 菊華学園他へ  
金子 照先生 (英語) 17年 " 志村高校他へ  
渋谷常助先生 (体育) 18年 "  
井出益男先生 (国語) 19年 " 日大藤沢高他へ  
後藤神戸先生 (国語) 25年 " 滝野川学園へ  
尾関ヒサ先生 (用務) 22年 "

転任された先生 (着任校)

平松慶輔先生 (社会) 40年着任 (城東高校)  
渡辺剛志先生 (国語) 43年 " (石神井高)  
高橋好文先生 (英語) 45年 " (古河二高)  
雲林院敦子先生 (事務) 48年 " (京 橋 高)

着任の先生 (前任校)

国語 相沢和雄 (本所工高)  
新井忠興 (練馬高)  
高柳則義 (化学工高)  
吉見圭二 (忍丘高)  
英語 磯山滯一 (江戸川高)  
堀 和子 (新任)  
体育 渡辺秀敏 (豊島高定)  
社会 藤倉好光 (向島工高)  
主事 石井順子 (文京盲学校)  
用務 高橋熱子 (青山高校定)



# 就 職 先

(54年3月卒生)

住友銀行  
西友ストアー  
日新火災海上保険  
川崎製鉄  
科研化学  
安田火災海上保険  
橋本総業KK  
リコーKK  
富士機材KK  
立石電機KK  
住友金属工業KK  
日本石油KK  
クラヤ薬品KK  
丸善石油KK  
東京海上火災保険  
三菱銀行  
紀国屋書店  
エアコン・サービスKK

和気産業KK

東工物産KK

日本国有鉄道

国家公務員(男)3

国家公務員(女)2

## 編集後記

紫筍第二十一号では、昭和五十一年から、五十三年に、退職された先生方に、教職時代の思い出、近況を、書いていただきました。思い出された方々も、いらつしやると思いますが、なつかしく思い出された方は、先生方へお手紙でも出して、みてください。きっと喜ばれると思います。

また、今年、卒業されたみなさんにも、楽しく読み、また、これからの人生のことを考えてはどうかと、「わたしの本」という題の文章を載せました。また、卒業生ばかりではなく、卒業して、まだ、わずかな方々、二十代の方々にも、読んでいただきたく思います。そして、読書のすばらしさを知っていただきたく思います。

どういものから、読んでよいか、わからない人は、NHKの「若い広場」という番組の中で、マイブックというコーナーがあります。毎回、有名な作家の方々が、自分の青春時代に読んで、感激した本を、紹介しています。よろしかったら、ご覧になってください。きっと、いい本を紹介してくれますよ。

さて、紙面が、少し残りましたので、違った話をします。わたしが、好きなラジオ番組が、一つあります。みなさんは、ありますか。

わたしが好きな番組は、音楽番組ではなく、ラジオドラマでもありません。さて、その中で、日本語のみだれの話をしました。

よく「うしてくださいさる」といいますが、これは、まちがいで、ほんとは、「うしていただく」というそうです。

また、日本語のすばらしさについても話をしました。「さくらは、ちる」「うめは、こぼれる」「つばきは、おちる」と表現するそうです。とても、すばらしいですね。みなさんも、日本語のすばらしさをさがしたり、または、みだれている日本語をみつけてみては、いかがですか。

## 文京高校同窓会報

### 紫 筍 〈第21号〉

昭和54年 2月7日  
発行 文京高校同窓会  
編集者 佐藤 義昭  
飯沼 裕美  
神生 幸成  
シ 貴子  
生 ミズ  
電 話 (821) 1635

<p><b>勝山歯科医院</b></p> <p>一A 勝山 和夫</p> <p>墨田区太平3-14-5 ☎623-6592(自)659-5675</p>	<p><b>MYフォト</b>          {ポर्टレート          商業写真          スタジオ出張}</p> <p>二B 板垣 公章          181 三鷹市新川          6-35-32          ☎0422 (43) 6415</p>	<p><b>池袋大久保病院</b>          (内科・胃腸科)          院長          二B 大久保 宏          170 豊島区西池袋1-43-5          ☎987-3785~7</p>
<p><b>豊北整形外科</b>          (神経痛・骨折)</p> <p>一A 鈴木 勲</p> <p>西武練馬駅・安田生命ウラ          ☎991-8424</p>	<p><b>八洲印刷KK</b></p> <p>一B 川上 光男          114 北区王子本町          2-11-6          ☎909-3211 (自)815-2839</p>	<p><b>弁護士</b></p> <p>二D 原田 策司          中央区銀座7-5-4          毛利ビル4階 ☎571-1780(代)          自宅 大田区上池台3-30-1</p>
<p><b>ヨシヒデ金属KK 代表取締役</b>          (非鉄金属材料の販売          金属材料コンサルタント)</p> <p>一A 郡司 良典          180-03 東久留米市小山          1-7-3          ☎0424-71-4415</p>	<p><b>(株)栗原製作所</b>          (各種ディスプレイ企画製造)</p> <p>一B 栗原 正昭          111 台東区元浅草4-5-5          ☎841-2515(代)</p>	<p><b>弁護士</b></p> <p>二E 早川律三郎          150 渋谷区神宮前          2-30-5          原宿キャステル 209号          ☎475-0330・0339</p>
<p><b>婦人科渡辺クリニック</b></p> <p>一A 渡辺 邦緒</p> <p>青山通り富士銀行ソバ          ☎403-3777 (自)719-1778</p>	<p><b>出光ガソリンスタンド</b>          自動車販売整備          飯田橋・神保町</p> <p>一B 末 正明          112 文京区後楽2-6-1          ☎261-5111 (自)811-0755</p>	<p>三A 木藤 慧          158 世田谷区瀬田          5-37-3          ☎700-6927</p>
<p><b>印刷全般、KK祥文社</b></p> <p>一A 大山 和男          国電、千代田線          西日暮里駅前          ☎801-2201</p>	<p><b>同仁産婦人科</b>          (池上線石川台駅前)</p> <p>一B 野村総一郎          145 大田区東雪谷          2-24-8          ☎720-1077.727-7100</p>	<p><b>産婦人科</b></p> <p>三E 小室 陽一          〒114 北区岸町1-12-22          ☎907-0303</p>
<p><b>弁護士</b></p> <p>一A 渡辺 剛彰          〒113 文京区西片2-12-23          ☎814-1984</p>	<p><b>高松診療所</b></p> <p>一B 野久保泰徳          〒190 立川市高松町2-2-14          ☎0425-22-7435</p>	<p><b>静谷クリニック</b>          (内科)</p> <p>四B 静谷 晴夫          170 豊島区西巢鴨4-6-2          ☎910-1136</p>
<p><b>渡辺歯科医院</b></p> <p>一A 渡辺 敏雄          160 新宿区新宿7-2-4          ☎203-3952</p>	<p><b>形成外科</b>  <b>日比谷クリニック</b></p> <p>一C 山中 秀男          銀座電通通り          ☎571-2045 (自)714-9518</p>	<p><b>静谷歯科医院(歯科一般)</b></p> <p>七D 静谷 栄夫          (午前)170 豊島区駒込          3-11-3          ☎915-1108          (午後)170 豊島区西巢鴨          3-8-15          ☎915-0072</p>

(一口壹万円です。同窓会までお申込み下さい。)